

令和3年度 岡山県立勝間田高等学校 学校経営計画書

I 校訓

<input type="checkbox"/> 質実剛健	安達清風先生の「有効学舎」建学の精神を継承
<input type="checkbox"/> 種徳共生	創立100周年記念に21世紀を切り拓く後輩へ、先輩から送られたメッセージ
<input type="checkbox"/> 至誠実行	平成17年4月引き継いだ、日本原高校の校訓

II 学校教育目標（学校のミッション、使命・存在意義）

1	誠実・明朗で勤労精神にあふれ、真摯に努力する心身共に健全な人材を育成する。
2	自律と責任のもと創意工夫により社会の変化に積極的に対応し、 地域社会や農業関連産業に貢献 する人材を育成する。
3	郷土の文化や自然を愛し、心豊かで生涯にわたり学び続ける姿勢をもった人材を育成する。

III 学校内外の環境分析 ※「強み」・「弱み」を明確にし、「強み」を生かす

	内部環境	外部環境															
強み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員に協働体制がある ○ 多様な専門性を持つ教職員集団の存在 ○ 教育施設・設備の充実 ○ 専門コース(20名程)の充実 【森林・園芸・食品・自動車・ビジネス】 ○ 地元を支える人材を育成している 【卒業生:就職70%の内、地元就職85%】 ○ 専門機関(SSW・SC・警察等)との強い連携 ○ 生徒指導数の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域との連携が強い 【交流活動・小中学校連携・ボランティア活動が充実】 ○ 勝央町からの支援あり(町内唯一の高校) ○ 勝央町に中核工業団地がある ○ 勝央町の人口(1万人)は維持状態 ○ 学校のイメージが徐々に上昇 ○ 進路実現に対して「面倒見が良い」イメージあり 															
弱み	<ul style="list-style-type: none"> □ 教職員間の情報共有や連携の不足 □ H23から11年連続定員割れ □ 生徒数減少(教員数減少) □ 教員の多忙感・疲弊感 □ 要支援生徒対応の増加(通級導入) □ 学習・生活習慣に課題ある生徒の増加 □ 原級留置者が多い(R2末:8人) □ 自己肯定感が低い生徒が多い 	<ul style="list-style-type: none"> □ 『問題行動多い』『学力低い』のイメージあり □ 公共交通機関の利便性が悪い □ 美作学区の中学校卒業生数の減少実態 <p style="text-align: center;">※H30～R10(10年間)約330人</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>高校入学年度</th> <th>H30</th> <th>R3</th> <th>R6</th> <th>R10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>卒業見込者数</td> <td>2,084</td> <td>1,963</td> <td>1,868</td> <td>1,756</td> </tr> <tr> <td>募集学級数</td> <td>39</td> <td>37</td> <td>34</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table>	高校入学年度	H30	R3	R6	R10	卒業見込者数	2,084	1,963	1,868	1,756	募集学級数	39	37	34	32
高校入学年度	H30	R3	R6	R10													
卒業見込者数	2,084	1,963	1,868	1,756													
募集学級数	39	37	34	32													

IV ミッションの追求を通じて、実現しようとする本校のビジョン（将来像・目指す姿）

◎ 地域や社会で活躍・貢献できる人材の育成
① 社会に通用する生徒
② 専門知識・技術を身に付け、活用できる生徒
③ 勝間田高校に『誇り』をもてる生徒

V 本年度の重点目標と具体的な取組

1 学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習を定着させる。 ・授業改善を行う。
2 生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・「勝間田スタンダード」を徹底し、基本的な生活習慣と安全な生活を確立させる。 ・部活動と生徒会活動を充実し、生徒に自信と誇りを持たせる。 ・校内美化、校外清掃活動を推進する。 ・自己の健康について関心を持たせ、健康意識を高めさせる。
3 進路実現	<ul style="list-style-type: none"> ・進路の活動を通して、主体的に進路決定できる力を育てる。
4 情報発信・広報	<ul style="list-style-type: none"> ・学校情報の発信を行う。

VI 生徒の声（スクールミーティングから主たる意見を抜粋）

<ul style="list-style-type: none"> ○ 落ち着いた学校 ○ 勝高のイメージアップ ○ 成長できる学校 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守れる ・整った服装 ・きれいな学校 ・学力を高められる ・挨拶できる 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールの厳選(厳しすぎないルールの模索) ・何のために制服を着るのか考える ・掃除に主体性を(掃除内容の個人表明) ・「きみこそスター」(個性の発表・共有) ・挨拶 UP イメージ UP 戦略(HR・運動部を核に)
--	---	--	---	--

